

中東呼吸器症候群(MERS)に関する情報

2012年9月以降、中東呼吸器症候群（MERS：マーズ）の感染者の発生が引き続き報告されています。

本年5月11日に韓国において発生した輸入症例については、明らかな接触歴がなかったこと等から診断が遅れたことや、医療機関における院内感染対策の不徹底等により、医療従事者や同じ病棟の患者やその家族に二次感染、三次感染が発生しています。

<参考：厚生労働省ホームページ「中東呼吸器症候群（MERS）に関する Q&A」>

●中東呼吸器症候群（MERS（マーズ））とは

◆概要

- ・中東呼吸器症候群(MERS)は、2012年に初めて確認されたウイルス性の感染症です。原因となるウイルスはMERS コロナウイルスと呼ばれています。
- ・2003年に流行した重症急性呼吸器症候群（SARS（サーズ））の原因となった病原体もコロナウイルスの仲間ですが、SARSとMERSは異なる病気です。

◆感染経路

- ・人がどのようにしてMERSに感染するかは、まだ正確には分かっていません。
- ・2015年5月以降韓国で患者が発生していますが、多くが、韓国内の病院での院内感染によるものと考えられています。
- ・患者から分離されたMERS コロナウイルスと同じウイルスが、中東のヒトコブラクダから分離されていることなどから、ヒトコブラクダがMERS ウイルスの保有動物であるとされており、感染源の一つとして疑われています。
- ・一方、患者の中には動物との接触歴がない人も多く含まれています。家族間や、医療機関における患者間、患者－医療従事者間など、濃厚接触者間での感染も報告されています。主に、飛沫感染（咳やくしゃみなどによる）又は接触感染による感染であると考えられています。

◆主な症状

- ・主な症状は、発熱、せき、息切れなどです。
- ・下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。
- ・MERSに感染しても、症状が現われない人や、軽症の人もいますが、特に高齢の方や糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人で重症化する傾向があります。

◆予防方法と治療

- ・MERSの発生が報告されている地域においては、咳やくしゃみなどの症状がある人との接触を避け、また動物（ラクダを含む）との接触は可能な限り避けることが重要です。
- ・現在、MERSに対するワクチンや特異的な治療法はありません。患者の症状に応じた治療（対症療法）になります。

●中東地域や韓国など、MERS 患者の発生が報告されている地域に旅行する場合に注意すること

◆旅行前

- ・糖尿病や慢性肺疾患、免疫不全などの持病（基礎疾患）がある方は、MERS に限らず、一般的に感染症にかかりやすいので、旅行の前にかかりつけの医師に相談し、渡航の是非について検討してください。
- ・渡航前に現地の最新の情報を検疫所ホームページ、外務省 海外安全ホームページ、在外日本国大使館ホームページなどで確認してください。

◆旅行中

- ・現地では、こまめに手を洗う、加熱が不十分な食品（未殺菌の乳や生肉など）や不衛生な状況で調理された料理をさげ、果物、野菜は食べる前によく洗う、といった一般的な衛生対策を心がけてください。
- ・咳やくしゃみの症状がある人や、動物（ラクダを含む）との接触は可能な限り避けましょう。
- ・咳、発熱などの症状がある場合は、他者との接触を最小限にするとともに、咳エチケット（[1]マスクをする、[2]咳・くしゃみの際はティッシュペーパーなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむける、[3]使用したティッシュペーパーはごみ箱に捨て、手を洗うなど）を実行しましょう。日常生活に支障が出る程の症状がある場合は、医療機関を受診してください。

◆旅行後

- ・帰国時に発熱や咳などの症状がある方は、空港内等の検疫所へご相談ください。
- ・帰国後 14 日以内に、発熱や咳などの症状がみられたら、直接医療機関には行かずに、事前に最寄りの保健所に連絡の上、渡航先を教えてください。
- ・症状がある間は、他者との接触を最小限にするとともに、咳エチケットを実行してください。

<香川県内の保健所>

保健所名	住 所	電話番号
小豆保健所	小豆郡土庄町湊崎甲 2 0 7 9 - 5	0879-62-1373
東讃保健所	さぬき市津田町津田 9 3 0 番地 2 (香川県大川合同庁舎内)	0879-29-8261
中讃保健所	丸亀市土器町東 8 丁目 5 2 6	0877-24-9962
西讃保健所	観音寺市坂本町 7 丁目 3 番 1 8 号	0875-25-2052
高松市保健所	保健対策課 感染症対策室 高松市桜町 1 丁目 1 0 番 2 7 号	087-839-2870